

# MK114 Scooter

## 取扱説明書

---

この度は「MK114 Scooter」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。



ENTREX™

## [1] はじめに

「MK114 Scooter」にお乗りいただく前に、本取扱説明書をよくお読みください。この取扱説明書に記載されている警告と注意事項をお守りいただくことにより、安全に製品をご利用いただけます。

ご不明な点がございましたら、購入店舗、または正規代理店アフターサービスまでご連絡ください。

1. 本製品の基本的操作法とLEDディスプレイの使用法を十分ご理解ください。
2. 安全な乗車を心がけ、より楽しく安全にご使用ください。
3. 本製品の構造、メンテナンス方法を理解して長くお楽しみください。
4. 取扱説明書は、お手元に保管してください。

## [2] 運転免許について

- ・本車両を一般公道で運転するには、運転免許証(普通自動車もしくは原付免許)が必要です。ご自身の免許証で運転できるか確認してください。
- ・本車両は第一種原動機付自転車です。
- ・本車両の乗車定員は運転者のみの1名です。

## [3] EVスクーターについて

### ① 道路交通法上の取り扱い

- ・本車両「MK114 Scooter」は道路交通法上、原動機付自転車に分類されます。従って運転の際は免許証の携帯、ヘルメットの装着が必要です。本車両は、第一種原動機付自転車です。公道を走行するにあたっては、移住地の役所(市役所もしくは区役所等)でナンバープレートを取得する必要があります。

### ② ナンバープレートの取得

- ・第一種原動機付自転車のナンバープレートは、各役所の税金関係の窓口※にて交付されます。交付にあたり必要な書類等は以下の通りです。

#### 〈必要な書類〉

- ・軽自動車税申告(報告)書兼標識交付申請書 (各役所のHPを参照)
- ・販売証明書(当社で発行いたします)
- ・取り扱い説明書
- ・ご購入者の印鑑
- ・本人確認資料(運転免許証、保険証、マイナンバーカード、パスポート等)

※税金関係窓口は各役所で窓口の課が異なりますので、事前に各役所のWEBサイトで確認してください。

### ③ 自動車損害賠償責任保険への加入

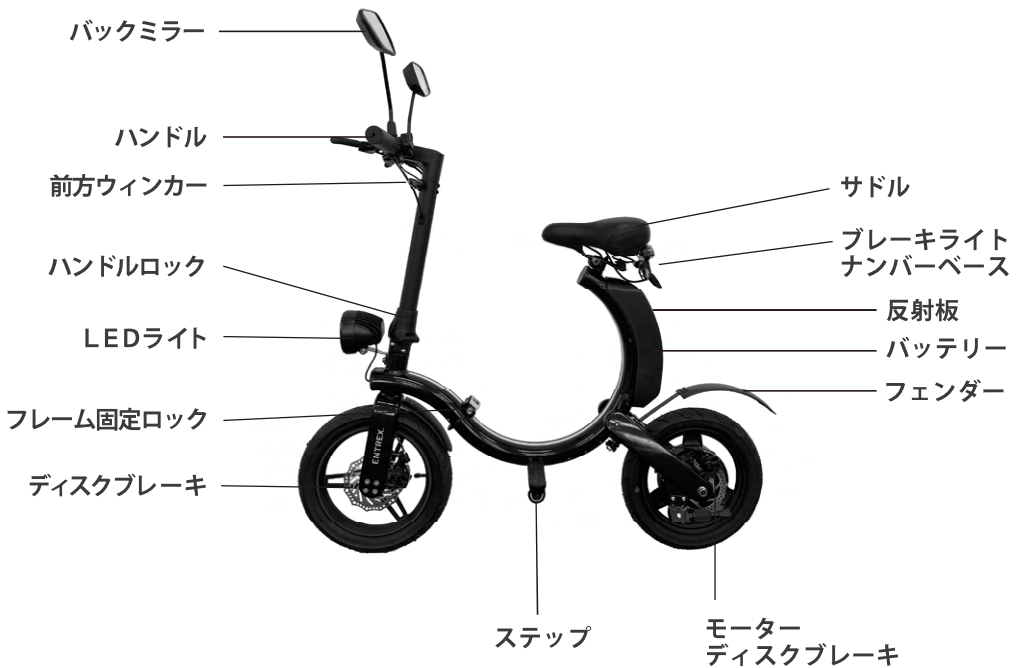
- ・「MK114 Scooter」を運転する際には、自動車損害賠償責任保険(通称:自賠責保険)への加入が法令で定められています。必ず加入してください。

#### ④ 原動機付自転車として必要な法令準守

- ・ 運転する際には、道路交通法によってヘルメットの着用、ヘッドライトの点灯が義務付けられています。
- ・ 本車両に運転者以外の人を乗せることは、道路交通法によって禁止されています。また法定最高速度は30kmです。
- ・ 自動車損害賠償責任保険(通称:自賠責保険)への加入が法令で定められています。運転を始める前に必ず加入してください。
- ・ 排気量50cc以下の第一種原動機付自転車は、通行帯が3車線(片側、一方通行とも)以上ある道路の交差点を右折する場合に「二段階右折」という右折方法を取ることが義務付けられています。詳細は該当する法令をご確認ください。
- ・ 違法改造は法令により禁止されています。改造により操縦安定性や走行性能が悪化し、車両寿命を縮め重大な事故や故障の原因にもなります。

## [4] 製品概要

「MK114 Scooter」は小型の個人向けスクーターであり、軽量構造デザインと、リチウム電池パワーにより快適な乗り心地を実現します。



## [5] つかいかた

### ■基本的なつかいかた

#### 全体的な確認：

定期的にボルトとナットが緩んでいないか確認してください。緩んでいたら、すぐにしっかりと締めてください。

#### ブレーキの確認：

ブレーキの動作状況と原則を開始時に確認してください。

#### スピードメーターの確認：

スロットルを回した際にメーターが動いているか確認ください。

#### 両サイドのハンドルの確認：

両手で両ハンドルを握り、前後に揺れないか確認してください。

#### 留め具の確認：

ハンドルロックやフレーム固定ロック等、留め具がしっかりと固定されていることを確認し、その周りにボルトとナットが緩んでいないか確認してください。

#### 充電の確認：

赤いライトの点灯は充電中、緑のライトの点灯は充電が完了したことを表示しています。

### ■はじめに

電源ボタンを長押しし電源をオンにします。ディスプレイが起動し、走行モードに入ります。

### ■ブレーキの使い方

ブレーキを引くことでスクーターにブレーキをかけます。

ユーザーによって使用感に個人差があります。ご自身で感度を調整してください。

急なブレーキは危険ですのでご注意ください。

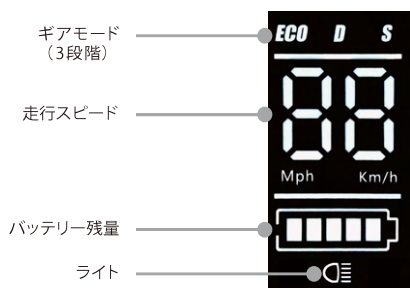
### ■電池のメンテナンス方法

- ①バッテリーを完全に充電しておくことで、バッテリーの寿命を延ばすことができます。充電せずに長い間放置すると、バッテリーの過放電や再充電できなくなる原因になります。
- ②バッテリーは気温差や湿度によって製品の内部の圧縮や配列の原因となりますので、バッテリーが完全に乾いた状態で充電してください。
- ③夏の直射日光があたる屋外でバッテリーを長期露出することはバッテリーの温度上昇、破損の原因になります。バッテリーは高温多湿を避け、気温と湿度が低い環境で保管してください。特に夏の夏の高温多時期はご注意ください。
- ④製品には一定の防水機能がありますが、安全のため雨の日の乗車は避けてください。もし乗車中に雨が降ったり、水分がかかってしまった場合は、バッテリーのカバーを開き、中の水分を拭き取ってください。

## [6] ディスプレイの表示



- ① 電源ボタンを長押ししてください。
- ② 警告サインが異常値になっている場合はカスタマーセンターにご連絡ください。



ギアモード: 3段階表示 **ECO** ECO PRO **D** COMFORT **S** SPORT

スピード表示: 実際の走行速度を表示します。

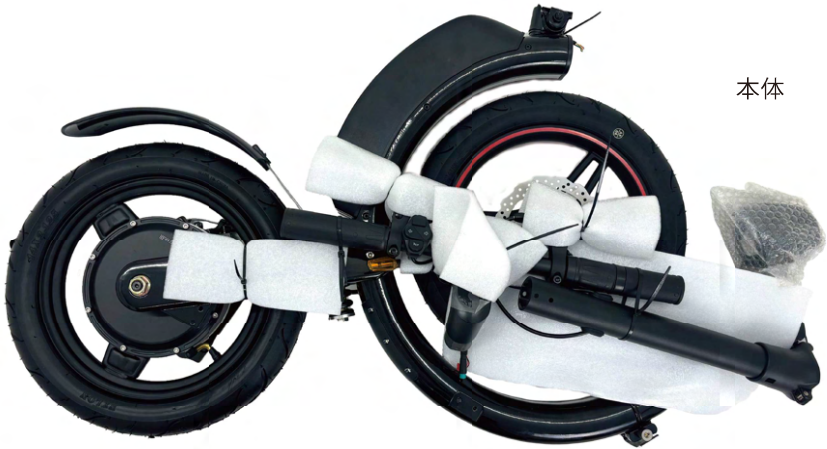
バッテリー残量表示: 現在のバッテリーの割合を表示します。

ライト表示: 電源ONと同時に自動でON状態になります。消灯することは出来ません。

## [7] 内容物・同梱品

※ 輸送時の破損防止のため、製品の部品の一部は取り付けられていません。

ご使用になる前に、マニュアルに記載されている取り付け手順に従って、パーツを組み立てる必要があります。



本体

サドル



ACアダプター  
電源ケーブル

ブレーキライト  
ナンバーベース



ステップ



六角レンチ 防水テープ

サイドミラー



サイドミラー  
固定リング



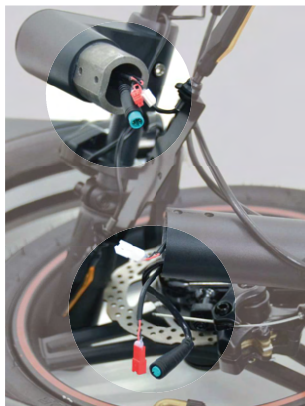
黒ネジ  
銀ネジ



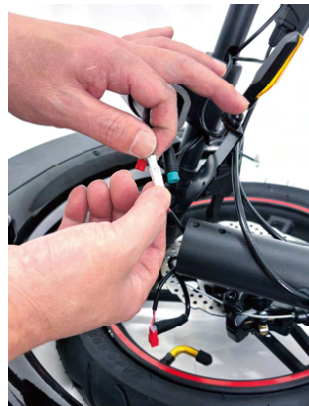
## [8] 本体の組み立て方



1 ハンドルバーが上になるようにして本体を床に寝かせます。



2 ハンドルバーの中から接続コード3種類(赤・白・緑)を取り出します。ハンドル側からも、同じく3種類のコードが出ています。



赤・白・緑それぞれの色を合わせ、はめ込む向きにも注意しながら接続します。



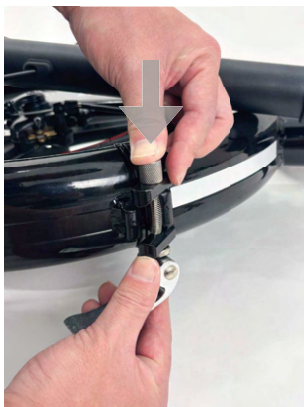
3 コードをハンドルバーの中に入れ込み、ハンドルをハンドルバーの奥まで差し込みます。コードが挟み込まれないよう注意してください。左右に揺らしながら差し込むと入りやすくなります。



4 [六角レンチ③、黒ネジ4本使用] ハンドル下部に前方ウィンカーを取り付けます。ハンドルバーを少し起こし、反対側も黒ネジで固定します。コードがねじれていないか確認し、向きを確認して取り付けてください。



5 フレーム固定ロックを開きます。



ポジショニングロックのネジを  
押しながらロックを外します。



6 本体を起こし、スタンドを立てます。



フレーム上部を左手で持ち上げながら右手でハンドルバーを持ち、前輪部分をハンドル側へ  
180度回転させます。





7 フレーム本体をまっすぐ立たせ、ポジショニングロックをはめ込み、ネジで調整しながら、フレーム固定ロックを閉じます。※



8 ハンドルバーを持ち上げ、中のコードを挟まないよう気をつけながら立たせ、ハンドルロックを閉めます。

9 最後に本体をまっすぐ立たせて、ハンドルとサドル取り付け部を持って左右に揺らし、固定ロックがしっかり固定されているかを確認してください。

この確認動作は、搭乗前に必ず行ってください。

※注意事項：一度ネジを時計回りにまわし、締めきります。

少しずつ緩めながらフレーム固定ロックが一番強い力で閉じられる位置で固定してください。

## [9] ステップの取り付け方

[使用部品]  
ステップ  
六角レンチ⑤  
銀ネジ 4本



1 フレーム下部に取り付けます。



2 もう片側にも取り付けます。

# [10] サドルの取り付け方

## [使用部品]

- サドル
- ブレーキライトナンバーベース
- 六角レンチ 8mm
- スパナ
- 防水テープ



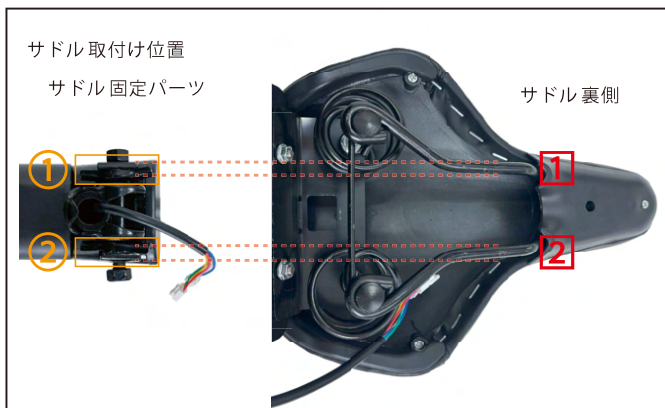
1 ブレーキライトナンバーベースのネジを外します。



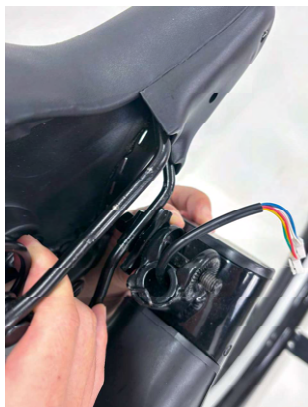
2 サドル裏の黒プレートにネジを押し込み、1 で取り外したネジを使い、取り付けます。



3 フレーム上部のサドル取り付け位置に、サドルを固定するパーツが付いています。※一番右側のナットを外し、パーツを緩めてください。



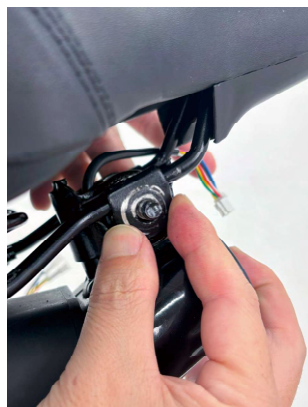
※サドルを固定するパーツは2か所あります。(黄色部分①②) サドル裏側の骨組み2本(赤色部分①②)をパーツに挟みこみ、最後にナットで締め上げる手順です。



4 まず先に、左側のパーツ①へ、骨組み①を挟みこみます。



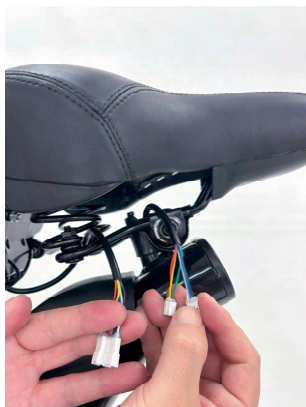
5 次に、右側のパーツ②の外側のパーツを外し、骨組み②をはめます。



6 5 で外したパーツを戻します。



7 再びナットで軽く締めて仮止めし、サドルが平行になっている事に注意しながら、ナットを締め上げます。

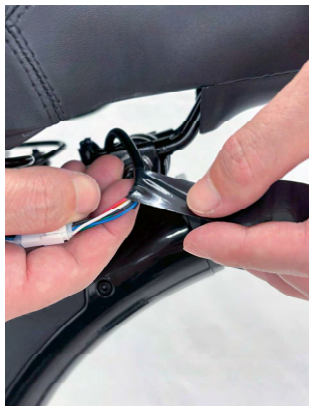


8 ブレーキランプコードが2種類あります。サドルの下を通して外へ取り出します。



9 色と差し込む向きを合わせてそれぞれ差し込みます。

※かなりきつく締め上げないと、乗車中にサドルが動いてしまいますご注意ください。



10 防水テープを巻きます。



11 サドルの下に隠します。

# [11] サイドミラーの取り付け方

## [使用部品]

サイドミラー

ミラーベース

六角レンチ 8mm、15mm



1 ミラーベースの穴へ、サイドミラーの根本をねじ込みます。



2 ミラーベースとサイドミラーの位置を整えます。



3 2のミラーベースのナットを緩め、ハンドルへ取り付けます。六角レンチ8mmを使って締め上げます。



4 サイドミラーの取り付け位置を確認し、ミラーの根本にあるナットを、六角レンチ15mmを使って締め上げます。



5 カバーを下げます。

## [12] 充電方法



充電時のショートを防ぐため、スクーターに充電ケーブルを接続してから、コンセントに差し込んでください。

使用部品：ACアダプター  
電源ケーブル



充電器の電源プラグを充電ソケットに差し込み、ACコンセントに差し込みます。

充電器のインジケータライトが赤から緑に変わると、バッテリーが完全に充電されています。毎回3～4時間(最大6時間)の充電をお勧めします。

充電ソケット





## [13] 折りたたみ方

### はじめに

折りたたむ際は、ミラーを取り外すことをお勧めします。折りたたみ時、本体を回転させる際に地面に当たり、破損する恐れがあります。



1 ハンドルロックを外します。



2 ハンドルを左側に倒します。折りたたみ時に遊びが出ないようにタイトに設計されています。タイヤを足で挟み込むと、倒しやすくなります。

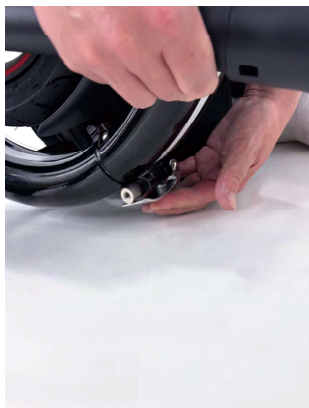


3 フレームロックを外します。



4 ハンドルを持ち、前輪を持ち上げながら、時計回りに回転させます。





5 フレームロックで固定して完成です。

## [14] 注意警告



取り扱いを誤った場合、死亡または重大な損害を生じる可能性があります。

- 運転中、ハンドルから手を離したり、フットレストから足を離したりしないでください。バランスを失ったり転倒を引き起こすおそれがあります。
- ヘルメットを必ず着用してください。
- 運転に適した服装を心がけてください。ジャケットやコート、ゆったりとした服装は運転操作の邪魔になります。
- 雨の日や風の強い日は、スピードを抑え慎重にブレーキをかけながら運転してください。
- 急ブレーキや急なシフトダウンは避けてください。横滑りや転倒のおそれがあります。
- 前方および側方の車両との距離を十分保ってください。車間距離が短いと衝突のおそれがあります。
- 走行中、メーターやスイッチを注視しながら運転しないでください。
- 走行中はキーの操作は行わないでください。
- サドルは正しい位置にきつく締めて固定してください。運転に支障をきたすおそれがあります。
- 電源が入っている状態で点検を行わないでください。
- 走行して点検する場合は、通常より速度を落とし、交通量の少ない場所で行ってください。
- 停車や整備する場合、平坦で足場のしっかりした場所に止めてください。不安定な場所に止めると、転倒し事故やケガの原因となるおそれがあります。

## [15] 製品情報

型番	MK114
モーター	□36V350W
バッテリー	48V13Ah
タイヤ	前輪：14インチ 後輪：14インチ
最高速度	30km/h
走行距離	約25km (満充電時)
耐荷重	約120kg
登坂角度	約12度
ブレーキ	フロント&リアディスクブレーキ

ライト	ヘッドライト/リアテールライト
サイズ	W53×H120×D122cm
色	ブラック
素材	アルミニウム合金、スチール
重量	本体19kg
充電器	AC100-24V/50-60Hz 出力：54.6V2.0A
充電時間	3～4 時間 初回起動時は完全に充電してから ご使用ください。
ダッシュボード	液晶モニター

## 全長サイズ



## 折りたたみ時

